

# PHOTO CONTEST 2023

日本鱗翅学会

# チョウとガ フォトコンテスト 2023

募集期間  
2023年8月10日～9月10日  
(締め切り；当日消印有効)

「ちょうちょ、ちょうちょ、菜の葉にとまれ」と童謡にも歌われているチョウやガの仲間は、私たちにとってはとても身近な存在ですが、近年その姿を見る機会が減ってきています。実は、チョウやガの仲間は身近な自然のバロメーターで、私たちの住む場所の自然の変化を反映しているといえます。

日本鱗翅学会では、チョウやガ(鱗翅類)の魅力やその変化を科学的に探るとともに、それを私達の住む場所や周辺の環境を守ることにつなげる活動を行っています。その一環としてチョウやガの魅力を再発見していただくとともに、身近な自然の変化を知る糸口にしていただこうと、広く一般の方々を対象にチョウとガのフォトコンテストを開催しておりますが、今年次は次のテーマで作品を公募いたしますので、たくさんの方々のご応募をお待ちしております。

◎テーマ◎  
チョウやガの不思議な生態  
◎部門◎  
一般の部・学生の部

## 賞

グランプリ(1作品)……………副賞(3万円のギフトカード)  
両部門を通じて最高評価の作品  
特選(各部門2作品以内)……………副賞(1万円のギフトカード)  
準特選(各部門5作品以内)……………副賞(5千円のギフトカード)  
入選(各部門10作品以内)……………副賞(1千円のギフトカード)  
(2023年10月22日の日本鱗翅学会大会においてグランプリと特選入賞者  
(希望者)の表彰式を予定)

## 選考方法

プロの写真家2名の先生方により、各部門の作品を審査して入賞作品を決定

## 審査員紹介



海野和男氏

1947年東京生まれ。昆虫を中心とするフリーの自然写真家。日本自然科学写真協会会長。学

生時代よりアジアやアメリカの熱帯雨林に通い昆虫の振態を中心に写真を撮り続ける。現在は、アトリエのある長野県小諸市に、じっくりと腰を据えて身近な自然を記録している。主な著書に『蝶の飛ぶ風景 Butterflies (平凡社)』、『昆虫の世界へようこそ』(ちくま新書)、『昆虫顔面図鑑』(実業之日本社)、『海野和男の昆虫撮影テクニック』、『世界で一番美しい蝶図鑑』(誠文堂新光社)など多数。



伊藤ふくお氏

1947年三重県生まれ。商業カメラマンを経て、1980年昆虫写真家として独

立。現在、自然写真工房主宰、奈良県在住。著書；『ちいさないきものくらしといきかた』(ひかりのくに)、『どんぐりの図鑑』『ひつつきむしの図鑑』『セミと仲間の図鑑』(トンボ出版)、『ハッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑』『ハッタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑』(北海道大学出版会)など多数。

# PHOTO CONTEST 2023

## 応募方法

- ①日本在住のプロ以外の方ならだれでも応募できます。  
各自が日本国内で撮影した単写真か組写真のいずれかを1作品として一人1点の応募とします。なお学生の場合は一般の部・学生の部へそれぞれ別作品を1点ずつ応募することが可能です。  
応募作品の撮影時期に制限はございません。
- ②応募用紙※に必要事項を記入し、①応募作品(5MB以下のJPEGファイル)とともにメールに添付して下記まで送るか、②応募用紙と応募作品をデータとしてDVD-RやSDカード等に入れて下記宛郵送して下さい(プリントは入れないで下さい)。  
なお、応募作品や応募に使用した電子媒体は返却いたしませんので、複製を保存してからご応募下さい。  
※;日本鱗翅学会のwebサイト(lepj-jp.org)からダウンロードして下さい。
- ③入賞作品は、日本鱗翅学会のwebサイトで発表する(2023年12月予定)とともに、入賞者には別途郵送にてお知らせいたします(都合によりスケジュールを変更する場合があります)。

## 応募作品について

- ①応募作品は未発表または発表予定のないものに限り、他のコンテストへの二重応募(入賞・入選しなかった作品は応募可)または類似作品とみなされる作品は失格となります。
- ②応募作品に人物が写りこんでいる場合には、ご応募に際して、必ず本人(被写体;未成年の場合は親権者)の承諾をいただいで下さい。
- ③入賞作品につきましては、入賞のお知らせの後に原稿の提出をお願いする場合がございます。
- ④応募作品の著作権は撮影者に帰属しますが、日本鱗翅学会は入賞作品を無償で使用する権利を有することとします。入賞作品は主に次の目的で使用します。日本鱗翅学会の出版物、またはホームページなどのwebコンテンツとしての2次利用など。

## メールでの応募

日本鱗翅学会 web サイト内のフォトコンテスト公募メールアドレス  
**lsj-photo@lepj-jp.org**  
(件名に「フォトコンテスト応募作品(氏名)」を明記)

## 郵送での応募

〒192-0364 東京都八王子市南大沢 2-214-6-103 藤塚 弘方  
日本鱗翅学会フォトコンテスト 事務局 宛



2022年度グランプリ受賞作品  
佐藤 伸一「アリと共に生きる」



2022年度一般の部特選受賞作品  
西嶋 信夫「フチグロトゲエダシヤク飛来」



2022年度一般の部特選受賞作品  
成田 徹「朧どもえ飛翔」



2022年度学生の部特選受賞作品  
西 雅刀「クリとキマルリ」

## 日本鱗翅学会とは

日本鱗翅学会は、鱗翅類(チョウとガ)に魅了された人達の集まりで、チョウやガはなぜこんなに魅力的なのかを科学的に探究するのを目的としています。アマチュアから専門家までだれでも入会できる開かれた学会です。

詳しくは、日本鱗翅学会のホームページ <https://lepj-jp.org/> をご覧下さい。